

## コラム 02 — 伊藤博文のスピーチ

<岩倉使節団の一員であった伊藤博文(当時 31 歳)の  
サンフランシスコ市での大歓迎晩餐会におけるスピーチより>

「今日、我が日本の政府及び国民の熱望していることは、欧米文明の最高点に達することであります。・・・中略・・・数百年の封建制度は一個の弾丸も放たれず、一滴の血も流されず、1年のうちに撤廃されました。このような大改革を世界の歴史において、いずれの国が戦争なくして成し遂げたでありますでしょうか。この一事を見ても、我が国の精神的進歩が物質的進歩を凌駕するものであることがおわかりでしょう。我が国旗にある赤い丸は、今まさに昇らんとする太陽を象徴し、我が日本を欧州文明の中原に向けて躍進するしるしです。」



岩倉使節団  
(左から)  
木戸孝允、  
山口尚方、  
岩倉具視、  
伊藤博文、  
大久保利通)